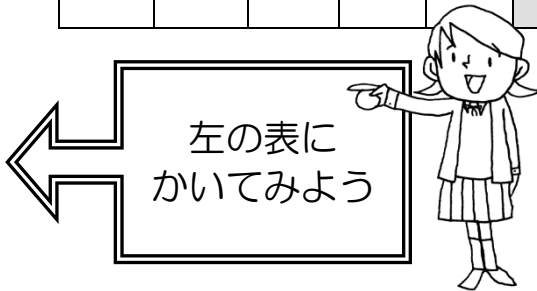


「こそあど」言葉

名前

① 「こそあど」言葉を書いて、表を作りましょう。

様子	方向	場所	ものごと		
			この	これ	
こんな	こちら	ここ	この	これ	こ 話し手に近い
そんな	そちら	そこ	その	それ	そ 相手に近い
あんな	あちら	あそこ	あの	あれ	あ 話し手・相手、ど ちらからも遠い
どんな	どちら	どこ	どの	どれ	ど はっきりしない



様子	方向	場所	ものごと		
			この	これ	
こんな	こちら	ここ	この	これ	こ 話し手に近い
そんな	そちら	そこ	その	それ	そ 相手に近い
あんな	あちら	あそこ	あの	あれ	あ 話し手・相手、ど ちらからも遠い
どんな	どちら	どこ	どの	どれ	ど はっきりしない

② 次の文の () には、□の字からはじまる「こそあど言葉」が入ります。その
こそあど言葉を左の □ から選び、□の字に続くように書きましょう。

(1) 妹がケーキを食べている。 () **そ** れ () は、母が買ってきたものです。

(2) 「バッグは () **ど** () に置きますか。」

「 **こ** () に置いてください。」

(3) あなたが落としたのは、金のおのと銀のおの () **ど** れ () ですか。

(4) 向こう側の校舎の () **あ** の () 窓から、友達が手を振っている。

(5) 私の家は、 () **そ** の () 角を左に曲がったところにあります。

この その あの それ どれ () () () () () () () ()
あ ち ぶ

③ 次の文の _____ 線の、こそあど言葉が指している部分を ○ で囲みましょう。

(1) 駅前に コンビニ がありました。私は そこ でお菓子を買いました。

(2) 屋根の上をねこが歩いています。昨日もねこが、ここを歩いているのを見ました。

(3) 妹は ピンクの毛布を持っていて、それが大のお気に入りです。

(4) 学校の ろうかに飾ってある 絵、あれは私がかいたものです。

(5) 向こうの川を見てください。あちらが東の方角です。

(6) 教室の真ん中に 机があり、そこに手紙が置いてありました。

(7) 道の 向こうに ベンチがあります。あそこで一休みしましょう。